

まちづくり常任委員会日常調査報告書（中間報告）

まちづくり常任委員会は、令和4・5年度の日常調査を実施するため、

①土地利用の見直しについて

②自治会加入対策について

この2項目を課題として設定し、調査を進めています。

そこで、これまでの調査内容について中間報告いたします。

1. 課題の内容

町の安定した発展を図るためには、土地利用の見直しが喫緊の課題であり、本町の土地利用について、行政手続きなど法令や計画（都市計画マスタープラン）等を確認するとともに地域の声を聞いて実態を把握する。

住みよい地域のためには、自治会が大きな役割を担っているが、自治会加入者の脱退が増加している。より良い自治会運営のため、脱退についての原因調査と今後の自治会の在り方を検討する。

2. 活動状況

期日	内容	場所
令和4年7月20日	日常調査の今後の活動計画について	役場 議員控室
令和4年8月17日	土地利用見直しの勉強会 自治会連合会役員との意見交換について	役場 議員控室
令和4年8月31日	町自治会連合会役員との懇談会	役場 大会議室
令和4年11月21日	土地利用見直しの勉強会	役場 議員控室

3. 調査内容

期日 令和4年7月20日

場所 役場 議員控室

内容 日常調査の今後の活動計画について

課題① 土地利用の見直しについて

本町の土地利用について、行政手続きなど法令や計画等を確認して現在の町の状況を理解する。（都市計画マスタープランなど）

委員会として、本町にとってどのような土地利用が望ましいか、調査・研究を進めて町に提言する。

課題② 自治会加入対策について

自治会脱退についての原因調査と、今後の自治会の在り方検討。自治会を脱退するという声が多いということから、自治会活動などについて現状を理解する。

委員会として、本町の自治会運営の在り方について調査・研究を進めて町に提言する。

今後の進め方

これら2つの課題は年度を分けて調査するのではなく、「同時進行」で実施する。

期日 令和4年8月17日

場所 役場 議員控室

内容 1. 土地利用見直しの勉強会

都市計画と高根沢町都市計画マスタープランについて

説明：都市整備課職員

2. 自治会連合会役員との意見交換について

令和4年8月31日に開催することに決定

まちづくり常任委員会が設定した日常調査の課題を調査する上で、今回から常任委員会が実施する際は、住民の意見を聞く機会を設ける事（広聴）となった事から、今回、自治会連合会役員との意見交換を行う。

内容 自治会加入対策について（自治会脱退についての原因調査と今後の自治会の在り方検討）

期日 令和4年8月31日

場所 役場 大会議室

内容 高根沢町自治会連合会役員と町づくり常任委員会との懇談会

懇談会の目的…自治会脱退についての原因調査と今後の自治会の在り方検討

Q 自治会を脱退する住民が多いと聞きますが、その事情と理由は

- 1) 高齢者世帯や一人世帯では役員ができない為
- 2) 会費負担が大きい
- 3) 共同作業が負担
- 4) 加入していてもメリットがない

Q 対応策はどのような事が考えられるか

- 1) 宇都宮市では、自治会連合会が主体となり、宮パス（店が協賛し、自治会加入者に得点を与える制度）の調査・研究

Q その他自治会運営で困っている事があるか

特にないとの事

結びに、自治会連合会から宮パスを実施するための検討委員会設置を予定であり、関係機関に協力を要請する。商工会等と打ち合わせをする際など、議員にも協力を要請された。

期日 令和4年11月21日

場所 役場 議員控室

内容 1. 土地利用見直しの勉強会（説明：町都市整備課職員）

①都市計画法と高根沢町都市計画マスタープランについて

②前回の勉強会の回答

- 1) 芳賀町八ツ木台開発に関する開発許可は、現在摘要されていない。
- 2) 市街化調整における工業団地、住宅団地の転用については一定の要件をクリアーする必要がある。
- 3) 駅周辺整備事業について宅地化の可能性について、調査・研究を重点に取り組んで行く。
- 4) 国道408号沿線開発については一定の要件をクリアーする必要がある。

4. 調査のまとめ

①土地利用の見直しについては

都市計画法と高根沢町都市計画マスタープランを中心に勉強会を開催したところですが、行政手続きなど法令や計画等を確認し、町の状況の理解を深める事ができたところです。

今後については、駅周辺整備事業を中心に調査・研究を深めるとともに、駅周辺集落住民の皆さんの考えがいかなるものか、調査研究していきます。

②自治会加入対策については

自治会を脱退するという声が多いということから、自治会活動などについて現状を理解するため、自治会連合会役員との懇談会を開催しました。

その内容は、自治会を脱退する住民が多いと聞くがその事情と理由は、対応策はどのような事が考えられるか、その他自治会運営で困っている事があるか調査研究しました。

自治会加入者のメリットなどを考慮し、また自治会連合会との連携を密にし、宮パスと同様の制度の導入の可否等について調査研究を進めていきます。

以上が、まちづくり常任委員会が実施した日常調査の中間報告です。

令和5年3月15日

高根沢町議会議長 神林 秀治 様

高根沢町総務常任委員会

委員長 齋藤 武 男

副委員長 小池 哲 也

委員 阿久津 信 男

委員 野中 昭 一

委員 小林 栄 治

委員 横須賀 忠 利

委員 菅谷 英 夫